

# 2019年度 上期決算説明会

2019年10月28日  
富士通フロンテック株式会社

◆ 2019年度上期決算概要

◆ 2019年度通期計画概要

# 2019年度 上期決算概要

# 連結経営成績

【億円】

摘要	売上高	営業利益	経常利益	特別損益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
<b>2019年度 上期</b>	<b>478</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>△15</b>	<b>△10</b>	<b>△41.88円</b>
1Q	212	△9	△12	-	△9	
2Q	266	16	15	△15	△1	
<b>2018年度 上期</b>	<b>477</b>	<b>8</b>	<b>10</b>	<b>△0</b>	<b>5</b>	<b>21.57円</b>
1Q	214	△5	△4	△0	△4	
2Q	263	12	14	-	9	
<b>増減額</b>	<b>+1</b>	<b>△1</b>	<b>△7</b>	<b>△15</b>	<b>△15</b>	

- 経常利益 為替差損 △3億円
- 特別損益 コスト構造改革費用を特別損失として計上 △15億円

# 地域別売上高

【億円】

摘要	2018年度上期	2019年度上期	増減額
国内	353	341	△12
海外 ( )内は売上高比率	124 (26.0%)	137 (28.6%)	+13
米州	53	65	+12
欧州	53	49	△4
アジア	18	23	+5
(中国)	(9)	(5)	(△4)
計	477	478	+1

期中平均為替レート

米ドル/円	110円	109円
-------	------	------

# 各セグメントの主な製品・サービス

セグメント	サブセグメント	製品・サービス
グローバルプロダクト ビジネス	メカトロニクス	●メカコンポーネント ●エアラインプリンタ等の応用機器
	システムプロダクト	●ATM ●営業店端末 ●精算機/入金機 ●海外向け装置ソリューション ●公営競技場向け関連製品
ソリューション・サービス ビジネス	サービスインテグレーション	●ATM・金融ソリューション ●産業ソリューション ●IoT/AIソリューション ●金融サービス ●LCMサービス（流通店舗向けトータルサービス）
	フロントソリューション	●手のひら静脈認証 ●RFID/センサーソリューション ●決済ソリューション ●モバイルシステム
その他		●公共表示関連製品 ●金型および精密切削加工部品

# セグメント別売上高・営業利益

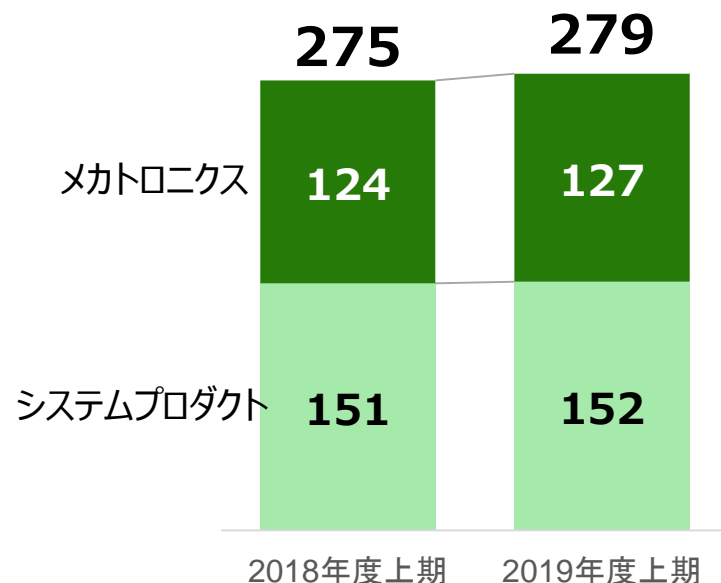
【億円】

摘要	2018年度上期		2019年度上期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>グローバルプロダクト ビジネス</b>	<b>275</b>		<b>279</b>		<b>+4</b>	
メカトロニクス	124	<b>3</b>	127	$\Delta 1$	+4	$\Delta 4$
システムプロダクト	151		152		$\pm 0$	
<b>ソリューション・サービス ビジネス</b>	<b>195</b>		<b>190</b>		$\Delta 5$	
サービス インテグレーション	139	<b>14</b>	143	<b>14</b>	+4	$\pm 0$
フロントソリューション	56		47		$\Delta 9$	
その他ビジネス/全社費用 (戦略投資含む)	<b>7</b>	$\Delta 9$	<b>9</b>	$\Delta 7$	<b>+2</b>	<b>+3</b>
<b>計</b>	<b>477</b>	<b>8</b>	<b>478</b>	<b>6</b>	<b>+1</b>	$\Delta 1$

# 売上高・営業利益の前年同期比（上期）

## ■ グローバルプロダクトビジネス

### 売上高[億円]



### 営業利益[億円]

2018年度上期	2019年度上期
3	△ 1

### メカトロニクス

- 欧米向けリサイクルユニットの堅調な推移
- メカユニット修理サービスの増加
- 中国向けリサイクルユニットの減少

### システムプロダクト

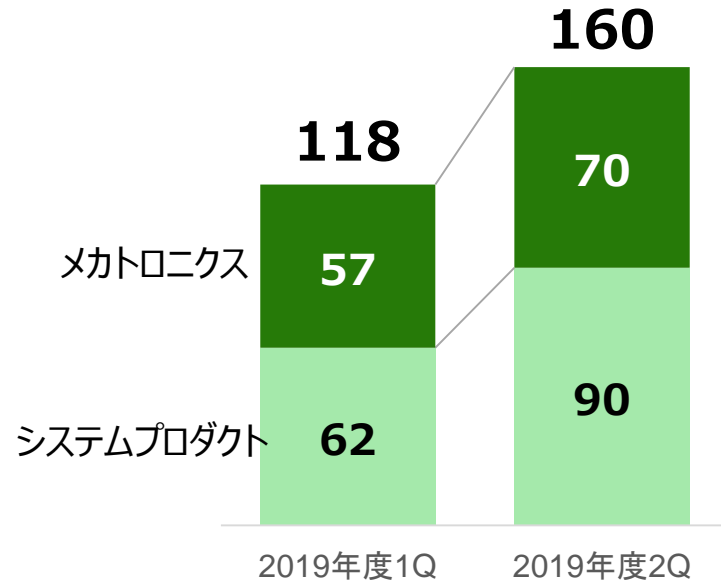
- トータルゼータ端末の堅調な推移
- 公営競技向けサービスビジネスの増加
- 営業店端末の減少
- toto端末の展開一巡による減少



# 売上高・営業利益の状況（四半期別）

## ■ グローバルプロダクトビジネス

売上高[億円]



営業利益[億円]

2019年度1Q	2019年度2Q
△ 1 2	1 1

### メカトロニクス

- 欧米向けリサイクルユニットの伸長
- 北米子会社における受託製造の増加

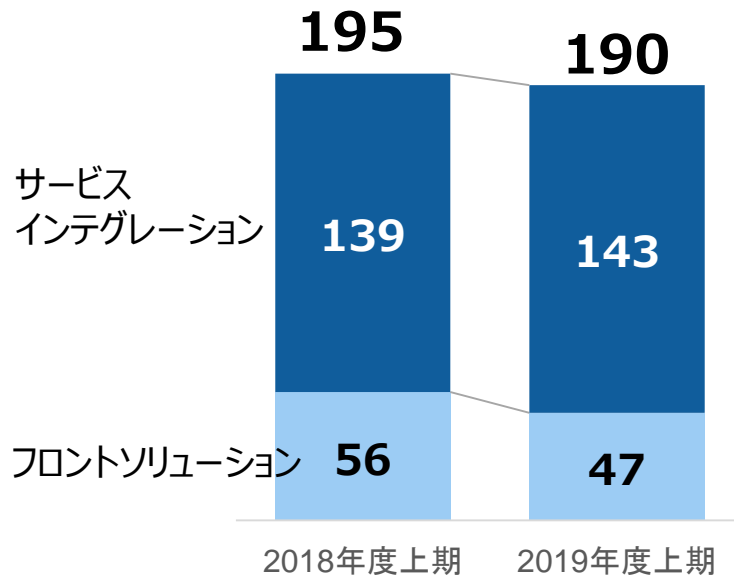
### システムプロダクト

- トータルゼータ端末の展開増
- 営業店端末の展開増
- 公営競技向けサービスビジネスの増加

# 売上高・営業利益の前年同期比（上期）

## ■ ソリューション・サービスビジネス

### 売上高[億円]



### 営業利益[億円]

2018年度上期	2019年度上期
14	14

### サービスインテグレーション

- クラウド型現金管理運用サービスの展開拡大
- 中古車市場向けせりシステムの伸長
- 業種SIビジネスの増加
- 流通店舗向けATMサービスの稼働台数減少

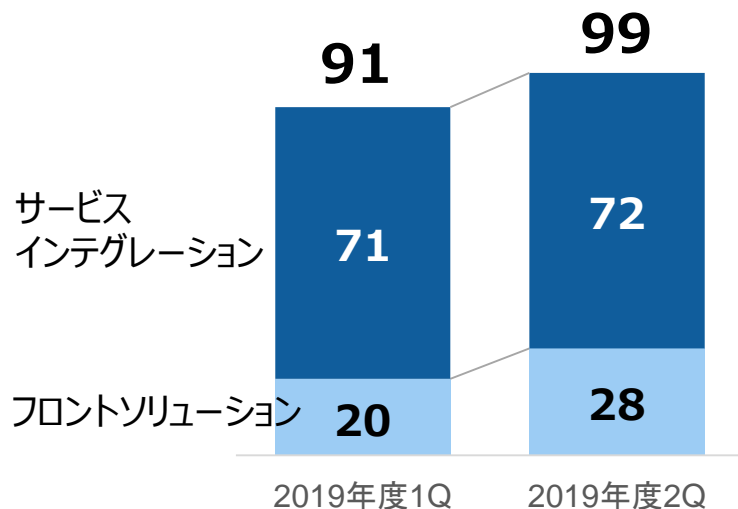
### フロントソリューション

- 国内外における手のひら静脈認証の増加
- 決済ソリューションの堅調な推移
- モバイル端末の大口展開一巡

# 売上高・営業利益の状況（四半期別）

## ■ ソリューション・サービスビジネス

### 売上高[億円]



### 営業利益[億円]

2019年度1Q	2019年度2Q
7	7

### サービスインテグレーション

- クラウド型現金管理運用サービスの展開拡大
- 業種SIビジネスの増加
- 流通店舗向けATMサービスの稼働台数減少

### フロントソリューション

- 国内外における手のひら静脈認証の増加
- 決済ソリューションの堅調な推移

# 連結財政状態、キャッシュ・フロー

## ■ 連結財政状態

【億円】

摘要	総資産	負債	純資産
2019年度上期	717	255	462
2018年度	737	261	476
増減額	△20	△6	△14

自己資本比率
63.6%
63.8%

## ■ 連結キャッシュ・フロー

【億円】

摘要	営業C/F (A)	投資C/F (B)	フリーC/F (A+B)	財務C/F (C)	C/F (A+B+C)
2019年度上期	24	△7	17	△7	9
2018年度上期	5	△27	△23	△9	△31
増減額	+19	+20	+39	+2	+41

現金及び 現金同等物の 四半期末残高
163
172
△10

# 2019年度 通期計画概要

# 基本方針と中期業績目標

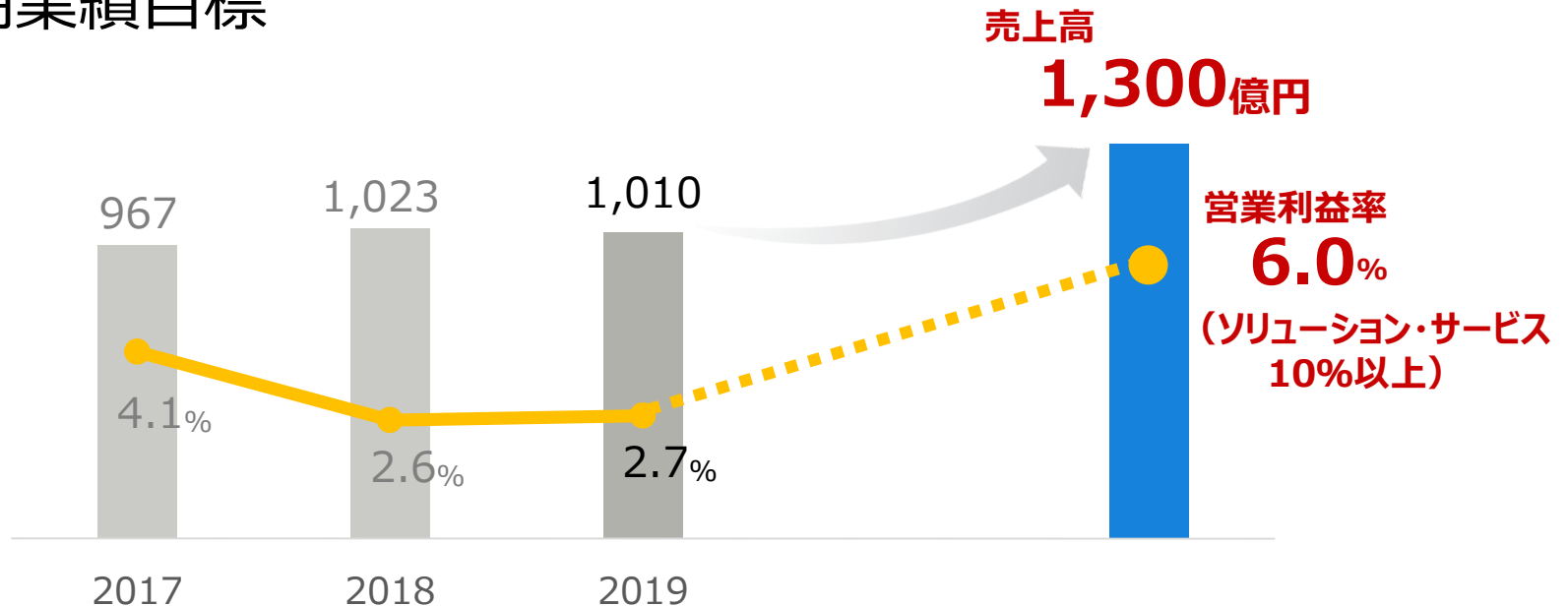
## ■ 基本方針

プロダクト/ソリューション/サービスの三位一体でビジネスを推進

ビジネスの枠を広げる

ビジネスの基盤を強化する

## ■ 中期業績目標



**1** メカコンポーネントビジネスの領域拡大

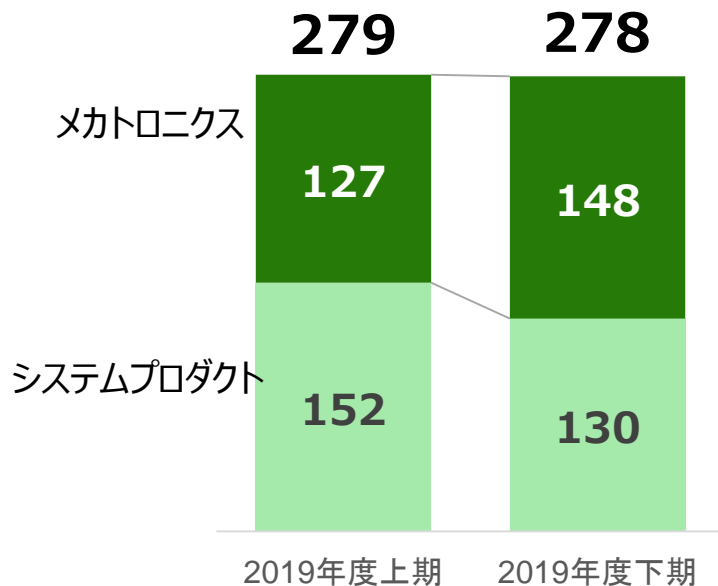
**2** 顧客ニーズの変化を先取りしたソリューション・サービス起点でのビジネス拡大

**3** ユニーク技術をコアとしたソリューションビジネス創出、  
特長あるLCMサービスの展開

# 下期の取り組み

## ■ グローバルプロダクトビジネス

### 売上高[億円]



### 営業利益[億円]

2019年度		
上期	下期	計
△1	13	12

### メカトロニクス

- 北米流通バックオフィスの現金管理ビジネス拡大  
新大型リサイクルユニットの展開開始
- 欧米流通市場フロントの現金処理自動化推進  
小型現金処理装置 (Cash Box Module)  
展開拡大
- 次世代グローバルリサイクルユニット開発の本格着手

### システムプロダクト

- 営業店業務改革ソリューションの展開拡大  
クイックカウンター、リサイクルキャッシャーによる効率化
- 精算機の機種ラインナップを拡充し、展開拡大  
自立タイプ/カウンタータイプ/キャッシュレスタイプ
- 警送会社向け新型入金機の投入による市場拡大  
小規模店舗をターゲットとしたコンパクト入金機



# 欧米流通店舗の現金管理ビジネス

- 店舗における現金管理業務の効率化/コスト削減の強い要望
- バックオフィス：入金機からリサイクル機への移行が加速
- フロント：決済のセルフ化、キャッシュレス化および現金処理の自動化が進展

## ➤ 流通バックオフィスの現金管理ビジネス拡大

- 協業パートナーとの関係強化
- 大型/中型/小型新リサイクルユニット供給による現金管理機ラインナップ強化



大型機



小型機

## ➤ 欧米流通フロントの現金処理自動化推進

- セルフチェックアウト機 (SCO) のラインナップ強化
- 小型現金処理装置 (Cash Box Module) の展開拡大



SCO



キャッシュレスSCO



Cash Box Module

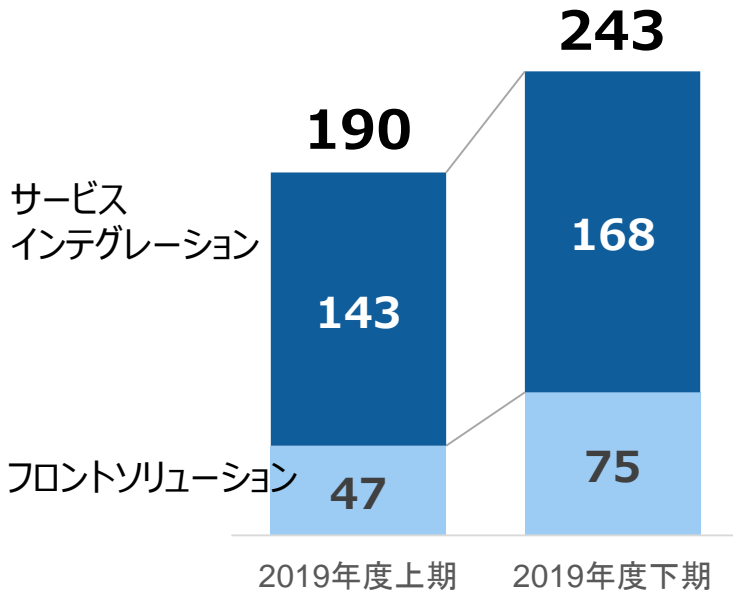
- 行員とお客様が共同で処理を行う、セミセルフ型事務処理方式を導入することでお客様の利便性向上と行員の事務処理負担を大幅に軽減。営業店の業務改革を強力に推進
- **伝票レス、印鑑レス、現金取扱いレスを実現するソリューションを提供**
  - クイックカウンタ（お客様の伝票記入レス、行員の現金取扱いレス）
  - 営業店タブレット連携（お客様セルフ入力による伝票レス）
  - リサイクルキャッシャ（大口セルフ入金機能 + 出納機能）

**都市銀行・地方銀行 6 行で稼働、4 行で開発中  
その他、地域金融機関を中心に約40行で商談中**

# 下期の取り組み

## ■ ソリューション・サービスビジネス

### 売上高[億円]



### 営業利益[億円]

2019年度		
上期	下期	計
14	19	33

### サービスインテグレーション

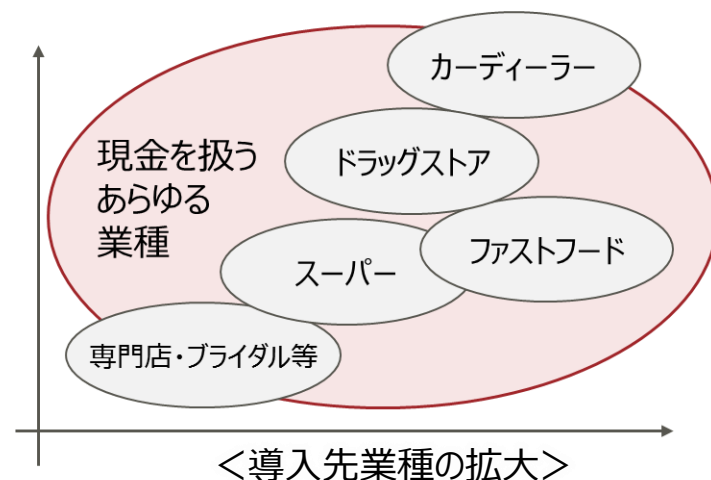
- クラウド型現金管理運用サービスの増加  
流通店舗を中心に人手不足による効率化ニーズへ対応
- 海外ベンダー向け保守サービスの増加
- 業種SIビジネスの伸長(保険、モビリティ 他)
- RFID・IoTソリューションの増加  
ビッグユーザのPoCから実ビジネス化を加速、業種横展開

### フロントソリューション

- 決済ソリューションの拡販  
百貨店等へのマルチ決済端末を引き続き拡販するとともに決済センター、決済事業者へのハード、サービス、SI商談を活性化
- RFIDリーダライタ、タグの拡販  
新製品(次世代タグ、高出力HHT(功))の市場投入
- 手のひら静脈認証装置の拡販  
セキュリティ対策でPC・タブレット・入退室装置内蔵センサーを拡販

■ 流通業における深刻な人手不足を背景に、店舗内の現金管理の効率化に高い関心

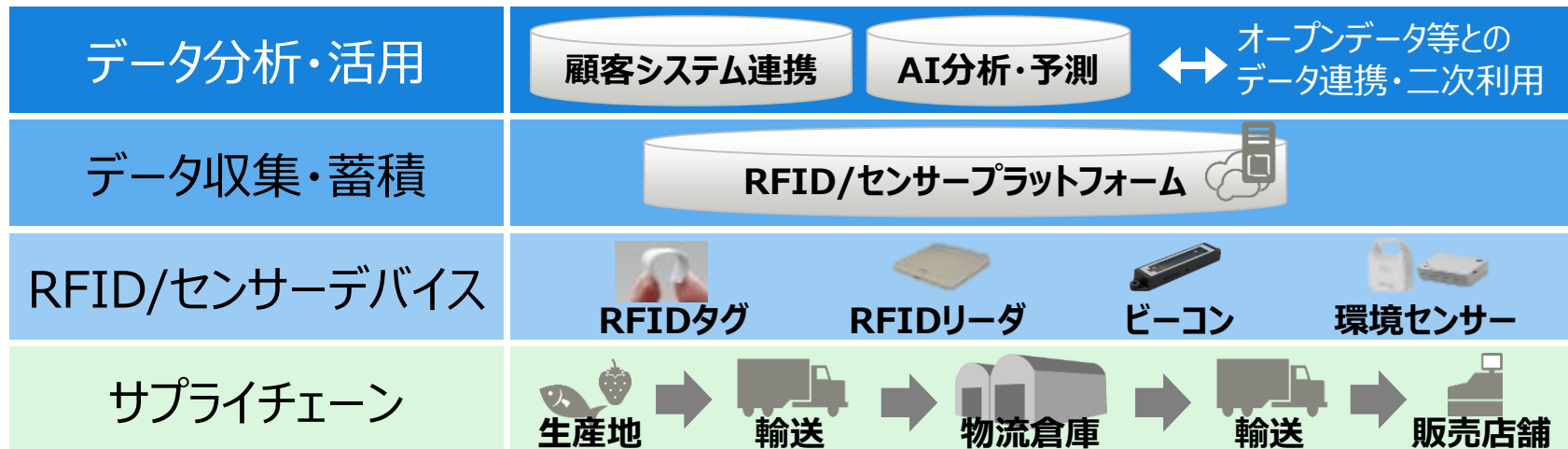
➤ **店舗運営の効率化、売上金の早期資金化などのニーズに応える各種サービスをクラウドで提供**



**警送会社との協業体制を強化し、多様な業種への展開を図る。今年度末までに2,200台が稼働予定**

# クラウド型現物管理ソリューション（RFID・IoTソリューション）

- 物流業/流通業における人手不足やHACCP（食品衛生管理）対応を背景に、省力化・効率化のソリューションに高い関心
- 従来、サプライチェーンの中で分散していた、物/環境/位置などのデータを、サプライチェーンを通して一貫して管理
- **ローコストな次世代リネンタグなどの新製品投入**
- **RFID/センサープラットフォームの展開加速**



## グローバルプロダクトビジネスにおける成長戦略の着実な実行とそれに伴う安定的な収益基盤の構築を図る

### 特別損失

- |  |        |
|--|--------|
| 1. プロダクト開発・製造・調達体制の再編・強化   | 1 1 億円 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>- プロダクト事業部門の統合・再編</li><li>- SCMプロセスの効率化・スリム化</li></ul> |        |
| 2. ソリューション・サービス起点でのビジネス強化  | 3 億円   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>- サービスビジネスとのシナジー創出を目指したリペアビジネス拠点統合</li></ul>           |        |
| 3. 不採算事業の見直し   | 1 億円   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>- 中国拠点ビジネスおよび国内不採算事業の見直し</li></ul>                     |        |

---

特別損失 合計 1 5 億円

# 通期業績予想

【億円】

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2019年度計画	1,010	27	22	3	10.43円
前回公表値	1,040	27	22	16	66.83円
前回公表比	△30	±0	±0	△13	
2018年度実績	1,023	26	27	16	65.28円
前年度比	△13	+1	△5	△13	

# 地域別通期売上高予想

【億円】

摘要	前回公表値	今回予想	増減額
国内	726	710	△16
海外 ( )内は売上高比率	315 (30.3%)	300 (29.7%)	△15
米州	155	149	△6
欧州	98	98	±0
アジア	62	53	△9
(中国)	(26)	(22)	(△4)
計	1,040	1,010	△30

期中平均為替レート

米ドル/円	105円	105円
-------	------	------



# セグメント別通期売上高・営業利益予想

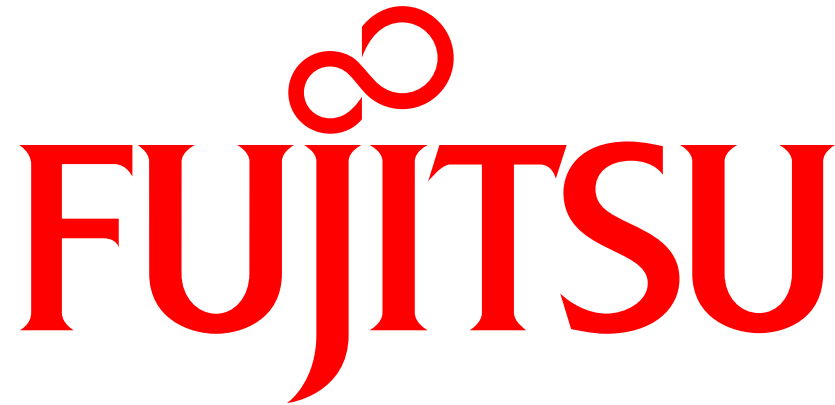
【億円】

摘要	前回公表値		今回予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>グローバルプロダクト ビジネス</b>	<b>580</b>		<b>557</b>		<b>△23</b>	
メカトロニクス	290	<b>12</b>	275	<b>12</b>	△15	<b>±0</b>
システムプロダクト	290		282		△8	
<b>ソリューション・サービス ビジネス</b>	<b>433</b>		<b>433</b>		<b>±0</b>	
サービス インテグレーション	300	<b>33</b>	311	<b>33</b>	+11	<b>±0</b>
フロントソリューション	133		122		△11	
その他ビジネス/全社費用 (戦略投資含む)	<b>27</b>	<b>△18</b>	<b>20</b>	<b>△18</b>	<b>△7</b>	<b>±0</b>
<b>計</b>	<b>1,040</b>	<b>27</b>	<b>1,010</b>	<b>27</b>	<b>△30</b>	<b>±0</b>

# 当社の目指す姿

富士通フロンテックグループの提供する「もの・コト」に触れることで  
人と企業、人と社会の新たなつながりが生まれ、  
より暮らしやすく安心・安全な社会を実現する





shaping tomorrow with you

### <見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

### <商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。